

漢字ミュージアム関連情報

日本漢字学会 第2期会員募集中

2018年3月29日に発足した日本漢字学会には、研究機関に所属する研究者だけでなく、一般の漢字愛好家の皆さまも入会することができます。詳しくは日本漢字学会WEBサイト(<https://jsgcc.org/>)をご確認ください。

漢検 6月21日(日)検定 受付開始
「日本漢字能力検定(漢検)」は、漢字能力を測定する技能検定です。

【申込方法と締切日】※3月1日(日) 受付開始
漢検WEBサイト・コンビニ:5月21日(木)
取扱書店:5月21日(木)願書協会必着
※書店での申込受付は5月18日(月)まで

Cafe 倭楽

コーヒー、国産牛や出し巻き玉子を使ったサンドイッチなどがそろそろ。ミュージアムチケット提示で割引。



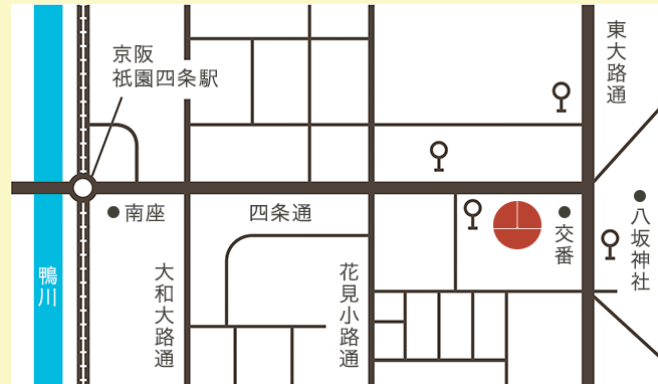
祇園祭ぎやらりい

漢字を切り取ったお守り型の紙製クリップや、魚の漢字をモチーフにしたフェルトコースターが新たに仲間入り!



【営業時間】9:30~19:00 【定休日】月曜(祝日の場合は翌平日)

アクセス・開館情報・入館料



【所在地】〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

【電話】075-757-8686

【WEB】<https://www.kanjimuseum.kyoto/>

【休館日】月曜日(休館日が祝日の場合、翌平日に振替)
※3/30(月)は臨時開館

【開館時間】9:30~17:00 (最終入館16:30)
※当日は入館チケット提示で再入館可能

【見学時間】60分~90分目安

【入館料】大人800円/大学生・高校生500円/中学生・小学生300円
小中高生1名以上と同伴の大人は、1名につき300円引き(大人2名まで)

【多言語対応】
※英語・中国語・韓国語に対応
・体験シート多言語版 配布
・音声ガイド貸し出し(1台500円)

▶音声ガイド使用の様子



八坂神社・知恩院・建仁寺・清水寺に近い立地です。

【アクセス】

電車 ・京阪本線『祇園四条駅』徒歩5分
・阪急京都線『河原町駅』徒歩8分
・地下鉄東西線『東山駅』徒歩10分
京都市バス ・『祇園』下車すぐ
※来館者用の駐車場はございません。お近くのコインパーキングか公共交通機関をご利用ください。



漢字ミュージアムをドローンで体感しよう!
(3分映像)

漢字ミュージアム Q

漢字ミュージアムSNSアカウント



漢字ミュージアム便り 2020年 4~7月号

春企画展「なやみ深き漢字学習—明治から戦前へ—」



明治時代、近代的な学校制度が始まります。当時、現在の私たちが使っているような漢字ドリルやノートはまだなく、小学校のそれぞれの学年で学習する漢字の数も決まっていません。さらには、漢字を廃止しようとする運動もありました。そのような時代の人々は、漢字をどのように学び、教えていたのでしょうか。なやみ深き漢字学習の近代に迫ります。

【期間】4月7日(火)~6月28日(日)

【場所】漢字ミュージアム2階 【料金】入館料のみ



▲『小学指数図』(明治時代)



▲『硬筆練習帳』(ペン文字会編、大正15年)

夏企画展「漢字が生きてる水族館」(仮)

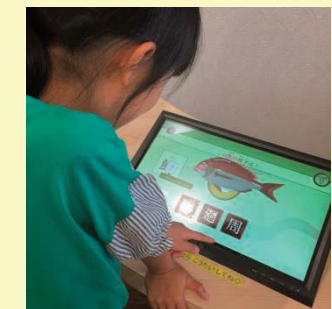


海の生物・生態と、漢字の知識を楽しく同時に学べる企画展。参加キットを受け取って、わくわく海中探検に出発しよう!

【期間】6月30日(火)~9月27日(日)

【場所】漢字ミュージアム2階 【料金】入館料のみ

関連常設展示



▲「漢字回転すし」コーナーで魚の漢字クイズに挑戦!



▲巨大湯のみに入って記念撮影



◀「生き物 漢字図鑑」コーナーでは、海の生き物以外にも鳥、昆虫、植物の漢字も学べます。

ワークショップの開催日や時間は、漢字ミュージアムWEBサイトでご確認ください。 漢字ミュージアム

消しゴムはんこを作ろう！

身近な素材(消しゴム)を使って、古代文字を学びながらはんこを作りましょう。

- 【対象】どなたでも
※小学校低学年は要保護者同伴
- 【時間】60分
- 【定員】10名
- 【料金】入館料+教材費300円



漢字カルタを作ろう！

自分の知っている漢字と部首を使って、オリジナルの手書き漢字カルタを作ります。

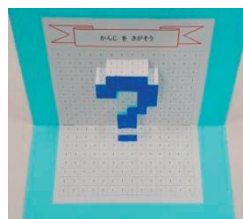
- 【対象】小学生以上
- 【時間】60分
- 【定員】10名
- 【料金】入館料+教材費300円



漢字で遊ぼう！

お題に合う漢字をさがしてマスに色をぬります。ぬり終わったらカードにして持って帰ることができます。

- 【対象】小中学生
小中学生に同伴の大人
- 【時間】60分
- 【定員】8名
- 【料金】入館料+教材費300円



アイロンビーズで漢字！

アイロンビーズを使って、漢字キーホルダーを作ろう！

- 【対象】小学生以上
※小学校低学年は要保護者同伴
- 【時間】60分
- 【定員】8名
- 【料金】入館料+教材費300円



粘土で漢字を作ろう！

漢字から想像した風景や物などを粘土を使って表現します。

- 【対象】どなたでも
- 【時間】90分
- 【定員】10名
- 【料金】入館料+教材費300円



拓本を取ろう！

墨を使って瓦当（がとう／屋根の先端の円形または半円形の瓦）から文字や文様を紙に写し取ります。

- 【対象】小学生以上
※筆ペンで漢字を書きます
- 【時間】30分
- 【定員】10名
- 【料金】入館料+教材費300円



水書き体験×漢字缶バッジ作り

- 1回で2種類の体験ができます。
- ①缶バッジ作り
(好きな漢字、自分の名前の漢字など)
- ②60cmサイズの特等紙に、筆で大きく漢字を書く

- 【対象】小学生以上
- 【時間】30分
- 【定員】10名
- 【料金】入館料+教材費100円



検定問題に挑戦して、スタンプを集めよう！ チャレンジカード「Challe ca」

漢字ミュージアム2階に掲示している漢検の検定問題（1～10級、各10問）に挑戦すると、1日1つスタンプがもらえます。4つ集めてミュージアムオリジナルグッズを手に入れよう！

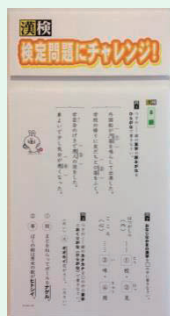
※採点員またはスタッフにお声がけください。



▲「Challe ca」オモテ



▲「Challe ca」ウラ



▲検定問題パネル

2020年度 前期 漢検 漢字文化研究所 連続講座 第7弾

古代日本と漢字

日本語は漢字と出会うことでどのような変化をとげてきたのでしょうか。今回の講座では、日本語と漢字との関わりについて、日本語の歴史の専門家に、さまざまな角度から論じていただきます。

開講日	テーマ	講師
4月18日(土) 14:00～15:30	古代の人々の言語生活 7～8世紀、漢字で日本語を「書きとめる」すべを知った人々が、生活の中で、どのように漢字とともにあったか、さまざまな場面を想像してみましょう。	関西大学文学部 教授 乾 善彦
5月23日(土) 14:00～15:30	うたを漢字で書く うたを文字に書くことは、歌声から歌詞を取り出すことにはじまります。そして歌詞の言葉が漢字という彩りをまといます。その装いを楽しんでみましょう。	京都大学人間・環境学研究科 准教授 佐野 宏
6月13日(土) 14:00～15:30	漢字から仮名へ - 「えびフライ定食」の謎!?! - 「えびフライ定食」という言葉。三つの字種と語種を交える複雑さを生み出すに至った経緯について考えます。	東京女子大学現代教養学部 教授 山本 真吾
7月25日(土) 14:00～15:30	漢文訓読が生んだ日本語 漢文訓読という漢文を直訳しながら解読していく習慣は日本語の姿を大きく変貌させました。漢文訓読から生まれた様々な日本語を紹介します。	山形大学工学部 助教 ジスク・マシュー
8月22日(土) 14:00～15:30	国語辞書の誕生 - いろは引きの意味 - 平安時代の日本人にとって「漢字を読むこと／書くこと」の苦勞はどこにあったのか、当時の日本人が作成した辞書を見ながら考えます。	京都府立大学文学部 講師 藤本 灯
9月12日(土) 14:00～15:30	節用集 - 時空を超える文化の方舟 - 漢字を引く辞書「節用集」は、漢字の方舟といえましょう。江戸時代に大発展した様子を御一緒に見てまいりましょう！	岐阜大学教育学部 教授 佐藤 貴裕

※2020年1月時点の所属情報です

講座は、各回違うテーマで、内容が連続する講座ではありません。ご自身の都合に合わせて、ご興味のあるテーマのみの受講ができます。

- 【場所】漢字ミュージアム1階 多目的室 ※13：30入室開始
 【申込】電話(075-757-8686)もしくは当館券売受付
 【聴講料】・<年パスお持ちでない方> 各回1,500円(入館料込)、学生は各回1,000円(入館料込)
 ・<年パスお持ちの方> 各回800円、学生は各回600円
 ◆4月18日まで全回早期一括申込割引を実施しています。
 ・全回入館料+全回聴講料 8,000円
 ・年パス購入+全回聴講料 6,500円
 ・年パスをすでにお持ちの方は全回聴講料 4,000円

年間パスポートのご案内

購入日から1年間、何度でも入館できる、とってもお得なパスポートです。
 【購入方法】漢字ミュージアム券売受付にて販売
 【料金】大人 2,500円 大学生・高校生 1,600円 中学生・小学生 1,000円

